

## 国土交通省中部運輸局に 指導を要請!!

7月31日、名古屋地本は、『7月17日、三重支店で関西線ワンマン列車を運転中に「ドア扱いの基本動作不良」があったとして、日勤再教育されている東海労組合員については、問題である』ことを明らかにするために、国土交通省中部運輸局に出向き、「ワンマン列車のドア扱いに対して、運転士の声を無視した基本動作の一方的変更は、問題であり不合理である。」「基本動作に従わないものに対する乗務降ろしと長期の日勤再教育は問題である」ことを強く訴えました。

あわせて、「いわれなき長期日勤再教育をすぐやめること」に対する会社への指導を要請しました。

それに対し、中部運輸局では、「基本動作マニュアルが変更された理由が、説明されていないのは問題である」というコメントが述べられました。

国土交通省中部運輸局  
局長 中田 徹 殿

2008年7月31日  
JR東海労働組合名古屋地方本部  
執行委員長 丹羽 成生

### 要 請 書

私たちJR東海労働組合は、1991年8月の結成以来、「安全の確立は輸送業務の最大の課題である」との認識のもとに、労働組合の社会的責務を果たすために、今日までJR東海会社に安全確立のための提言や諸設備の改善、事故原因の解明を求めてきました。しかし、JR東海会社は、「安全は確保されている。何ら問題はない。」と、この間の申し入れに対して誠実に答えていません。このようなJR東海会社の安全に対する姿勢は、「安全軽視・営利優先」と言わざるを得ず、旅客の生命・財産を預かる私たちにとって、容易に看過できるものではありません。

私たちJR東海労働組合は、今後も労働組合という立場から、安全の確立に向け取り組みを進めていきます。

貴国土交通省中部運輸局におかれましては、監督省庁として、JR東海会社が安全軽視を改め、安全安定輸送に専念するよう強く指導されますように要請します。

**皆さん!! おかしいことにはおかしいと、職場からしっかりと声をあげましょう!**